

2023 年 12 月期第 1 四半期決算発表に関して、株主・投資家の皆様から頂戴した  
主なご質問内容をまとめました。決算短信及び決算補足資料と併せてご覧ください。

### 1. 業績及び生産量について

**Q1 : 2023 年 12 月期第 1 四半期は第 1 四半期としては過去最高益か？**  
ご理解の通り。四半期利益としても 2022 年 12 月期第 4 四半期に次ぐ過去 2  
番目の高水準。

**Q2 : 2023 年 12 月期第 1 四半期のネット生産量（日量）は過去最高か？**  
ご理解の通り。2023 年 12 月期第 1 四半期のネット生産量は 667.0 千  
BOED（日量）であり、四半期実績としては過去最高となった。

### 2. セグメント利益及び報告セグメントの変更について

**Q1 : セグメント利益を従来の営業利益から当期純利益に変更した理由は？**  
中期経営計画の経営目標としていること、取締役会が経営資源の配分の決定  
及び業績評価に用いる指標であることから、より実態に即した評価・分析を行うた  
め変更した。

**Q2 : 新規報告セグメントへの変更理由は？**  
中期経営計画に基づく事業ポートフォリオの大幅な組換えやそれに伴う取締役会  
での評価・分析指標の見直し等のため。

### 3. 豪州における石油資源利用税（Petroleum Resource Rent Tax、以下 PRRT）について

**Q1 : 5 月 7 日に、豪州政府より PRRT 税制改正方針が発表されたが、その内容  
は？**  
大きな変更点としては、PRRT 課税所得に対する PRRT 繰越欠損金の使用が  
90%に制限されたこと、と理解している。

**Q2 : PRRT はいつから支払いを始めるのか？**  
アルバニー政権が発表した繰越欠損金の 90%使用制限が導入された場合、  
生産開始の 7 年後から PRRT の支払いが実質的に開始されることになる。

### 4. イクシスプロジェクトについて

**Q1 : イクシスプロジェクトの利益貢献はどの程度か？**  
2023 年 12 月期第 1 四半期においては、セグメント利益が 908 億円。通期見  
通しでは約 2,400 億円となる見込み。

## 5. その他

**Q1 : 東証から、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて、現状分析、計画策定・開示、取組みの実行に係る一連の対応・開示が要請されているが、いつ対応するのか**

現在、検討を進めているところであり、2023年12月期第2四半期以降を目途として開示を検討している。

**Q2 : 2023年12月期において自社株買いを含む追加還元の予定はあるのか**

株主還元方針については、総還元性向40%を目途とすることを掲げている。今期については2023年12月期第2四半期における通期業績予想等を踏まえ、具体的な還元方針を判断していく。

以上

### 注意事項：

本書に記載される情報は、当社の計画と見通しを反映した、将来予想に関する記述に該当する情報を含んでおります。かかる将来予想に関する情報は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性およびその他の要因が内在しております。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、かかる将来予想に関する情報に明示的または黙示的に示される当社の将来における業績、経営結果、財務内容に関してこれらと大幅に異なる結果をもたらす可能性があります。かかるリスク、不確実性およびその他の要因には下記のものが含まれますが、これらに限られるものではありません。

- 原油および天然ガスの価格変動及び需要の変化
- 為替レートの変動
- 探鉱・開発・生産に関連するコストまたはその他の支出の変化

本書に掲載される情報（将来予想に関する情報を含む）を、その掲載日後において、更新または修正して公表する義務を負うものではありません。